新グローバリゼーションの時代に対応したこれからの新薬開発はどうあるべきか

宮田 敏男
東北大学教授（総長特別補佐（研究担当））

【寄稿】

めざましい新興国台頭の波を受け、新たなグローバリゼーションの時代に突入した今日、国際的な医療ニーズに応え、それを科学技術外交における一つの切り札にするためにはどのような戦略が必要とされるのであろうか。長年にわたりアカデミア発の新薬開発に取り組んできた宮田敏男（東北大学教授（総長特別補佐（研究担当）））は、医薬品の日々の転換をもとに科学技術外交における重要性を考え、新しい視点を提案している。